

# 浜通り平坦地域における露地電照小ギク栽培の 8月旧盆出荷の実証(浪江町、檜葉町)

福島県農業総合センター 浜地域農業再生研究センター

事業名 福島県営農再開支援事業

小事業名 営農段階に応じた既存技術の体系化

研究課題名 小ギク露地電照栽培の実証

担当者 鈴木洋平、根本知明、江川孝二

## I 実証技術の解説

### 1 要旨

浜通り平坦地域における露地小ギク栽培では、電照による発蕾抑制効果が高い小ギク品種を用いて消灯日を調整することで、栽培地、品種、定植日が異なっても出荷目標時期にほぼ計画どおりに開花を誘導することができる。

- (1) 到花日数のデータを用いて、目標採花日から各品種の到花日数を逆算して電照消灯日を設定することで、各品種の採花時期はほぼ同時期となる(表1、2、3、図1)。
- (2) 電照処理により開花揃いが良くなり、無電照と比べて収穫期間は短縮する(表2、3)。
- (3) 定植時期を早めると電照の有無にかかわらず、切り花長は長くなる(表2、3)。

### 2 期待される効果

- (1) 浜通り平坦地域で小ギクを導入する場合、8月旧盆需要期に計画出荷が可能となり、所得向上が期待できる。

### 3 活用上の留意点

- (1) 本試験は、浪江町幾世橋及び檜葉町上繁岡で行ったものである。
- (2) 「精ちぐさ」は、電照処理の有無に関わらず採花始期頃から下葉の黄化や黒さび病等の発生が見られたため、栽培中の下葉黄化防止に注意して適正な肥培管理等を行う。

## II 具体的データ等

表1 各品種の電照処理期間及び目標とする採花盛期日

品種	電照期間		予定到花日数 (日)	目標採花盛期日
	電照開始日(挿し穂日)	電照消灯日		
精ちぐさ(赤)	4月12日	6月23日	43	8月4日
精こまき(黄)	4月12日	6月17日	49	8月4日
精しらいと(白)	4月12日	6月10日	56	8月4日

注1)各品種の予定到花日数は、平成26年度参考となる成果「同一品種での8、9月需要期出荷が可能な夏秋咲き小ギクの露地電照栽培」を参考にした。

表2 電照処理の有無及び定植日の違いが小ギクの採花期及び切り花長に与える影響(浪江町)

電照有無	品種(色)	5月2日定植					5月8日定植				
		採花始期 (月/日)	採花盛期 (月/日)	採花終期 (月/日)	消灯からの 到花日数 (日)	切り花長 (cm)	採花始期 (月/日)	採花盛期 (月/日)	採花終期 (月/日)	消灯からの 到花日数 (日)	切り花長 (cm)
有	精ちぐさ(赤)	8月3日	8月4日	8月5日	43	84.3±2.0	8月3日	8月4日	8月5日	43	75.6±3.1
	精こまき(黄)	8月3日	8月4日	8月5日	49	84.8±3.9	8月3日	8月4日	8月5日	49	75.2±2.8
	精しらいと(白)	8月4日	8月4日	8月5日	56	76.3±3.3	8月4日	8月5日	8月6日	57	65.7±3.1
無	精ちぐさ(赤)	7月8日	7月12日	7月15日	-	41.7±3.1	7月11日	7月14日	7月16日	-	33.1±1.8
	精こまき(黄)	7月14日	7月17日	7月19日	-	54.0±2.8	7月19日	7月20日	7月22日	-	49.5±2.3
	精しらいと(白)	7月31日	8月2日	8月5日	-	65.3±3.1	8月1日	8月4日	8月5日	-	63.6±2.5

注1)電照処理は、22:00~4:00の6時間処理を挿し穂日から処理を行った。

注2)電球は、白熱灯(みのり電球75W)を3×1.6mに1球、高さ1.8mに設置した。

注3)採花始期は、調査全茎の10%、採花盛期は50%、採花終期は90%を採花した日。

注4)消灯からの到花日数は、消灯日から採花盛期までの日数。

注5)切り花長は、平均値±標準偏差。

表3 電照処理の有無及び定植日の違いが小ギクの採花期及び切り花長に与える影響(檜葉町)

電照有無	品種(色)	5月2日定植					5月6日定植				
		採花始期 (月/日)	採花盛期 (月/日)	採花終期 (月/日)	消灯からの 到花日数 (日)	切り花長 (cm)	採花始期 (月/日)	採花盛期 (月/日)	採花終期 (月/日)	消灯からの 到花日数 (日)	切り花長 (cm)
有	精ちぐさ(赤)	8月4日	8月5日	8月7日	44	86±1.3	8月4日	8月5日	8月7日	44	79±2.7
	精こまき(黄)	8月3日	8月4日	8月6日	49	90±2.1	8月3日	8月4日	8月6日	49	79±2.8
	精しらいと(白)	8月3日	8月4日	8月6日	56	76±2.1	8月3日	8月4日	8月6日	56	68±2.2
無	精ちぐさ(赤)	7月8日	7月10日	7月13日	-	36±2.3	7月8日	7月10日	7月13日	-	32±2.3
	精こまき(黄)	7月15日	7月17日	7月20日	-	55±2.9	7月15日	7月17日	7月20日	-	53±1.5
	精しらいと(白)	7月30日	7月31日	8月2日	-	67±2.4	7月31日	7月31日	8月3日	-	-

注1)電照処理は、22:00~4:00の6時間処理を挿し穂日から処理を行った。

注2)電球は、白熱灯(みのり電球75W)を3×1.6mに1球、高さ1.8mに設置した。

注3)採花始期は、調査全茎の10%、採花盛期は50%、採花終期は90%を採花した日。

注4)消灯からの到花日数は、消灯日から採花盛期までの日数。

注5)切り花長は、平均値±標準偏差。



図1 電照処理を行った小ギクの様子(8月3日) 左:精ちぐさ、中:精こまき、右:精しらいと

## III その他

1 執筆者 鈴木洋平

2 実施期間 平成28年度

3 活用した技術のポイント(参考文献・資料等)

(1) 平成26年度参考となる成果「同一品種での8、9月需要期出荷が可能な夏秋咲き小ギクの露地電照栽培」